

科目名	健康生活看護学(精神援助)			ナンバリング	PEN141	授業形態	演習
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	茂木泰子	担当教員	茂木泰子、○鈴木祐子				

授業の概要	精神に健康課題を抱える人の身体・心理・社会的側面の特徴と家族の特徴を理解し、精神状態に応じた看護援助の基礎的知識・技術を学修する。心の機能と発達、治療的環境、精神の健康課題に対する治療と看護、地域生活支援などについて学び、人々の健康の保持増進および回復を支援する看護について学修する。また、今日の精神看護へのニーズの多様化に対応するため、リエゾン精神看護についても理解を深める。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護におけるこころの働きについて論理的に理解できる。 2. 精神症状論と状態像について具体的に理解できる。 3. 代表的な精神疾患について具体的に理解し、説明することができる。 4. 精神科の治療法と看護について理解することができる。 5. 精神科リハビリテーションにおけるアプローチが理解できる。 6. 精神看護における看護技術・看護展開が対象者に合わせて実践できる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	精神概論1.2の講義で学んだ内容を踏まえ、精神看護学臨地実習に向け主体的に取り組むようにすること。 授業中に用いられた専門用語は、必ず自ら教科書や参考資料等で確認してその意味を確実に理解すること。 看護過程の展開の基礎知識を十分に復習しておくこと。
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を身につけている。
	<input type="radio"/> 2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。
	<input type="radio"/> 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
	<input type="radio"/> 4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
	<input type="radio"/> 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
ルーブリックレベル2参照	ルーブリックレベル3参照

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○				50%
小テスト・授業内レポート	○		○	○	○		30%
宿題・授業外レポート	○		○	○			20%
授業態度・授業への参加				○			加点せず、減点する

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 演習評価は、その場にてフィードバックする 2. 課題レポートはルーブリック評価する
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	精神看護におけるこころの働き	人間のこころの働きとしくみおよび家族システムについて	
	第2回	精神症状論と状態像	不安の防衛などのさまざまな精神症状について	
	第3回	うつの心情と行動	うつの心情と行動について	
	第4回	心的外傷と精神障がい	心的外傷と精神障がいについて	
	第5回	代表的な精神疾患①	統合失調症とその看護について①	
	第6回	代表的な精神疾患②	統合失調症とその看護について②	
	第7回	代表的な精神疾患③	気分障害とその看護について	
	第8回	代表的な精神疾患④	アルコール依存症とその看護およびアディクションとその看護について	
	第9回	代表的な精神疾患⑤	摂食障害とその看護について	
	第10回	代表的な精神疾患⑥	パーソナリティ障害とその看護について	
	第11回	代表的な精神疾患⑦	神経症性障害とその看護について	
	第12回	代表的な精神疾患⑧	こどもの精神看護について	
	第13回	精神科の治療法と看護①	精神看護のアセスメントとセルフケア理論について	
	第14回	精神科の治療法と看護②	薬物療法、認知行動療法の看護の実際について	
	第15回	精神科リハビリテーションにおけるアプローチ①	精神科リハビリテーションの概要について	
試験				

	回次	テーマ	授業内容	備考	
授業計画	第16回	精神科リハビリテーションにおけるアプローチ②	精神科リハビリテーションの演習		
	第17回	精神科リハビリテーションにおけるアプローチ③	グループダイナミクスについて		
	第18回	精神科リハビリテーションにおけるアプローチ④	精神科レクリエーションの演習		
	第19回	精神看護における看護技術①	コミュニケーション技法、アサーションについて		
	第20回	精神看護における看護技術②	セルフケアについての演習		
	第21回	精神看護における看護技術③	ストレングスモデルについて		
	第22回	精神看護における看護技術④	ストレングスモデルの演習		
	第23回	精神看護における看護技術⑤	プロセスレコードについて		
	第24回	精神看護における看護技術⑥	プロセスレコードの演習		
	第25回	精神医療と看護①	精神医療と看護について②		
	第26回	精神医療と看護②	精神医療と看護について②		
	第27回	事例による看護の展開①	精神看護の看護展開		
	第28回	事例による看護の展開②	精神看護の看護展開		
	第29回	事例による看護の展開③	精神看護の看護展開		
	第30回	事例による看護の展開④	精神看護の看護展開		
		試験	期末試験を実施する。日程については後日掲示板を確認すること。		
	授業の進め方		講義ならびにグループ・ワーク(演習)		
授業外学習の指示		主体的に演習を行うために、不明な点は必ず教科書で確認するか、事前に教員に質問すること。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)			

教科書	ナーシング・グラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 精神看護学① 第4版.メディカ出版.2017. ナーシング・グラフィカ 精神障害と看護の実践 精神看護学② 第4版.メディカ出版.2017.
参考書	指定なし。講義内で配布する資料を参考にすること。
参考URLなど	なし
その他	なし

ルーブリック「健康生活看護学（精神援助）」

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		レベル3（模範的、理想的）	レベル2（標準、合格）	レベル1（要改善、不合格）
1	関心・意欲・態度 知識・理解	精神看護におけるこころの働きについて論理的に理解できる	精神看護におけるこころの働きについてわかる	精神看護におけるこころの働きについてわからない
2	関心・意欲・態度 知識・理解	精神症状論と状態像について具体的に理解できる	精神症状論と状態像についてわかる	精神症状論と状態像についてわからない
3	関心・意欲・態度 知識・理解	代表的な精神疾患について具体的に理解し、説明することができる	代表的な精神疾患について理解できる	代表的な精神疾患について理解できない
4	関心・意欲・態度 知識・理解	精神科の治療法と看護について理解することができる	精神科の治療法と看護についてわかる	精神科の治療法と看護についてわからない
5	関心・意欲・態度 知識・理解	精神科リハビリテーションにおけるアプローチが理解できる	精神科リハビリテーションにおけるアプローチがわかる	精神科リハビリテーションにおけるアプローチがわからない
6	関心・意欲・態度 知識・理解	精神看護における看護技術・看護展開が対象者に合わせて実践できる	精神看護における看護技術・看護展開ができる	精神看護における看護技術・看護展開ができない